

## 33 卷 補冊号 目 次

### 教育シンポジウム

#### 「今，TEACCH の視点から共生の初等教科教育を考える」

#### 大会長挨拶

教育シンポジウム「今，TEACCH の視点から共生の初等教科教育を考える」	1
小野寺 昇	

#### TEACCH 講演

なぜ TEACCH なのか —TEACCH の考え方—	2
諏訪 利明 小田桐 早苗	
通常学級における ASD 児を念頭においた工夫	
—どのように TEACCH を活かせるか—	8
小田桐 早苗 諏訪 利明	

#### 各教科

視覚情報を用いた和歌教材の開発 —古今集 169 番歌を題材として—	12
橋本 美香	
児童の自主的な読書を促す多読教材の開発	20
黒江 理恵	
「風水害への備え」を考えるワークシート —第 4 学年社会科教材—	28
田並 尚恵	
小単元「世界とつながる地域」の教材化	
—総社市の外国人住民と多文化共生の取り組みから—	39
竹中 理香	
等分除の概念理解を助けるアプリの開発 —個別最適な学びの実現を目指して—	50
兵藤 史武 長谷川 光未 須谷 弥生	
小学校理科におけるビジュアルプログラミング教材の開発	
—通常学級における ASD 児を含む授業を想定して—	58
渡邊 佳代	
時空間的推移現象を理解するためのタイムラプス動画を活用した教材の提案	
—小学校第 5 学年「メダカのたんじょう」を例に—	67
竹内 雅貴 倉田 智子	

アニメーションを用いた小学校理科「水の循環」の教材開発 —子どもの興味をひきつける地域素材を用いて—	77
西田 裕明	
TEACCH の視点を取り入れた「自由即興」教材の提案 —子どもの自己発見・自己肯定感の高まりを目指して—	85
田中 順子	
倉敷市児島を舞台とした能「藤戸」の鑑賞教材の開発 —パワーポイントを用いたデジタル紙芝居を中心に—	94
西脇 藍 須谷 弥生	
廃材を利用した工作教材の提案 —児童発達支援センターでの実践を手がかりとして—	103
尾崎 公彦	
昔と今の住まいの比較を通した「住まいの快適さ」を学ぶ教材の提案 —倉敷市における伝統的住宅を活用して—	114
合田 喜賢	
インクルーシブ教育のための TEACCH プログラムと 性格特性的「強み」を活用した調理実習の提案	122
青木 孝文	
自閉スペクトラム症児がいる小学校通常級を想定したマット運動教材の提案 —TEACCH の視点に焦点を当てて—	135
後藤 大輔	
ICT による音声とタスクの構造化と可視化を取り入れた小学校英語教材の提案	143
佐藤 大介	
<b>コメント</b>	
「倉敷市の教育行政・学校現場の今」からみる 「今後の川崎医療福祉大学に期待する教員養成」	153
城井田 成美	
編集後記	155